

# 平成27年度NICU等入院児の在宅移行支援の取組

## (1) NICU入院児支援コーディネーター配置促進

NICU入院児支援コーディネーターを配置し、早期から在宅への移行支援を行うことにより、家族の療養環境の整備とNICU等病床の確保を図る。

<NICU等入院児支援コーディネーターもしくは同等の役割を担う職員の配置状況

【平成27年度】 24施設  
 (内訳) 総合周産期母子医療センター 12施設  
 地域周産期母子医療センター 11施設  
 周産期連携病院 1施設

## (2) NICU入院児支援コーディネーター連絡会

NICU入院児支援コーディネーターや、その業務を担っている看護師、助産師、MSW等を対象として、各施設の取組の情報共有や退院支援に関わる資質向上を図る。

【平成27年度実績】

開催日	テーマ	参加人数
平成28年 2月10日	(1) NICUにおける家族支援・退院支援の取組等 (2) 各施設の取組状況 等	22施設参加/37施設中 (31名)
平成28 3月17日	(1) PICU・NICU等から地域へ、切れ目のない在宅支援 (2) 在宅療養における支援 等	25施設参加/37施設中 (37名)
平成28年 3月23日	(1) 未受診妊婦(特定妊婦)等への対応について (2) 各施設の取組状況 等	24施設参加/37施設中 (35名)

## (5) 小児等在宅移行研修事業

東京都周産期母子医療センター、周産期連携病院及び東京都子ども救命センター(以下「周産期センター等」という。)におけるNICU・PICU等入院児の在宅療養への円滑な移行を促進するとともに、在宅移行後の地域における児の安心・安全な療養生活の実現を図るため、周産期センター等、その他の病院、診療所、保健所及び区市町村等における医療・保健・福祉従事者に対して、研修会を実施することにより、NICU・PICU等入院児の円滑な在宅移行を担う人材と、移行後に必要な医療・保健・福祉サービスを担う人材の育成を図る。

【平成27年度実績】

区分	開催日	テーマ	
保健師向け	平成27年8月20日	○NICU等から在宅移行する重症児の疾病や障害の理解 ○NICU等から在宅移行する重症児の家族支援 ○NICUからの退院支援・NICU・GCU見学	国立成育医療研究センター在宅診療科医長 中村知夫氏 国立成育医療研究センター医療連携・患者支援センター 佐藤杏氏 国立成育医療研究センター小児看護専門看護師 大沼仁子氏
診療所医師向け	平成27年8月22日	○小児在宅医療に対する東京都医師会の取組 ○小児在宅医療を始めて ○小児在宅医療の実際	東京都医師会理事・佐々木こどもクリニック院長 佐々木伸彦氏 医療法人財団はるたか会・NPO法人あおぞらネット理事長 前田浩利氏
多職種合同研修	平成28年2月20日～21日	○小児在宅医療の現状と多職種連携の意義と理念 他	医療法人財団はるたか会・NPO法人あおぞらネット理事長 前田浩利氏 他16名
指定二次救急医療機関 (小児)職員向け	平成27年8月6日～10日	○看護師対象研修	都立小児総合医療センター
	平成27年11月～平成28年1月	○理学療法士対象研修	都立小児総合医療センター
	平成27年11月12日～13日	○看護師対象研修	都立東部療育センター

## (3) 在宅移行支援病床運営事業

NICU・GCUと在宅療養の間に中間病床として在宅移行支援病床を設置し、在宅療養等へ向けた準備(訓練等)を行い、運営することにより、NICU等長期入院児の在宅療養等への円滑な移行の促進を図る。

【平成27年度実績】 9施設 43床  
 (内訳) 総合周産期母子医療センター 6施設(33床)  
 地域周産期母子医療センター 2施設(8床)  
 指定二次救急医療機関(小児) 1施設(2床)

## (4) 在宅療養児一時受入支援事業

NICU等長期入院児の在宅医療中の定期的医学管理及び保護者の労力の一時支援を行う。

【平成27年度実績】 17施設 35床  
 (内訳) 総合周産期母子医療センター 8施設(18床)  
 地域周産期母子医療センター 6施設(14床)  
 周産期連携病院 1施設(1床)  
 指定二次救急医療機関(小児) 2施設(2床)